

拉致問題に関するこどもサミット実施要領

1. 趣旨

拉致問題の解決のためには、国民が心を一つにして、全ての拉致被害者の一日も早い帰国実現への強い意思を示すことが、問題解決に向けた力強い後押しとなる。他方、これまで拉致問題について触れる機会の少なかった若い世代への啓発が重要な課題となっているところ。

中学生が自ら拉致問題を主体的に考え、拉致問題の啓発に係る取組を支えるリーダーを育成するとともに、都道府県及び政令都市の代表が東京に集まって交流することで、全国各地での多様な取組を一層促進することを目的とする。

2. 主催 政府拉致問題対策本部

3. 定員 中学生 生徒67名、引率者 教員等67名

4. こどもサミット概要

全国の都道府県・政令指定都市教育委員会から推薦された中学生が東京に集まり、拉致被害者御家族の講話を視聴し、拉致問題について学ぶ。

また、拉致問題を同世代、家族、地域の人に自分事として考えてもらうためにはどうしたらいいか、グループ協議、全体交流などの活動を通して議論を行う。具体的には、グループ協議では、設定したターゲットにどんなメッセージを伝えればよいか議論し、CMの絵コンテを作成する。全体発表では、絵コンテに基づいたCM劇を発表する。

なお、生徒が制作した絵コンテの優秀作品は、クリエイターが映像化し「YouTube 拉致問題対策本部公式動画チャンネル」及び「拉致問題対策本部公式 Twitter」等にて公開するとともに、12月の国際シンポジウムにおいて上映する機会を設けることを検討する。

5. 開催日程等

(1) 開催日程 (※内容や時間等の変更の可能性あり。)

令和5年8月10日(木) 9時50分～16時00分

9:20 受付開始

9:50 開会行事

10:00 講義：拉致被害者御家族<40分>

- 10:45 クリエイティブディレクターによる説明<60分>
11:45 昼休憩
12:35 グループ協議：
 12:35-13:05 課題の設定
 13:05-13:50 ターゲット及び伝えたい内容の設定
 13:50-14:50 絵コンテ作成（伝えたいメッセージを伝えるための具体案作成）
 14:50-15:05 CM劇の練習
15:05 全体発表：協議を踏まえたCM劇の発表<30秒×17グループ>
15:35 講評
15:50 閉会行事（終了予定16:00）

（2）会場

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター
「レセプションホール」（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

6. 参加者

（1）参加資格

拉致問題の解決に向けて積極的に取り組んでいる地域や学校の中学生及びその引率者。ただし、引率者は、教育委員会職員又は参加生徒の在籍する学校の教員とする（生徒の保護者は不可とする）。

生徒には、必ず引率者が同行すること。なお、引率者のみの参加は不可とする。

また、参加生徒は以下の事前・事後課題に対応すること。

- 事前課題：
 - ・アニメ「めぐみ」、拉致対制作海外広報用番組（日本語版）を視聴すること
 - ・拉致問題に関するパンフレット（参加者決定通知時に配付）を読むこと
- 事後課題：
 - ・「北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール 2023」に応募すること

（2）推薦人数

都道府県教育委員会及び指定都市教育委員会から生徒各1名、引率者各1名

（3）推薦手続き

都道府県・指定都市教育委員会は、参加者（生徒及び引率者）を取りまとめ、参加者名簿に必要事項を記載のうえ、令和5年5月12日（金）

までに担当宛て電子メールにて送付すること。

(4) 参加者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、内閣官房拉致問題対策本部事務局において決定し通知する。

7. 旅費等について

(1) 生徒及び引率者の旅費等は、国家公務員等の旅費に関する法律法及び内閣官房旅費規程等に準じて内閣官房が負担する。

(2) 航空機、新幹線等及び前泊・後泊が必要となる者の宿泊施設の手配は内閣官房が行う。

8. その他

(1) 報道発表を予定しているため、メディアに生徒の映像や氏名が公開される場合があることについてあらかじめ周知すること。

(2) 本サミットにおいて生徒が作成した絵コンテ及びCM劇の著作権は、内閣官房拉致問題対策本部事務局に帰属する。

(了)